※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０３

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	第１学年	CREATIVE English Communication Ⅰ　（第一学習社） WORDBOX Essential 2nd Edition(美誠社)

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションの授業は「聞くこと」、「話すこと（やり取り）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。教科書の内容について、聞いたり読んだりしたことをベースに話したり聞いたりする言語活動を行います。

・単語の意味や繋がり、文構造などの意味理解を確立させた英文を音読することは、外国語を学ぶ効果的な方法です。リズムやイントネーションに注意を払いながら授業内での音読練習の機会を大切にし、授業外でも学習した英文たちを自分のものにするために音読に励みましょう。

・語彙や文法の学習は、意味理解のためには大切ですが、それらがコミュニケーションの中でどのように使われているかを常に考えながら学習しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

域領	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・リスニングの基礎力を活用することができる。 ・決まった表現でゆっくりはっきり話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。 ・ゆっくりはっきり話されれば、駅や空港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞きとることができる。	・大きな抵抗感なく、高校基礎レベルの長文を読むことができる。 ・５０語程度の英文を後戻りすることなく、一定時間内に黙読して要点を理解した後、適切なポーズを伴い音読することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	・簡単な英語で自分の考えを表現することができる。 ・簡単な英語で質問し合い、お互いの意見や情報を交換をすることができる。 ・日常的な挨拶ができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについて相手とやり取りをすることができる。	・自分のことや、興味・関心のあることについて、簡単な語句や表現を用いて相手に伝えることができる。 ・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、与えられたテーマについて簡単な語句や表現を使って短く説明することができる。	・文法や語彙の基礎力を活用することができる。 ・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

点 観	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の語彙、表現、言語の働きなどについて理解を深めている。また、それらが実際のコミュニケーションの中でどのような役割を果たしているかを考えて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 定期考査や小テストを通して評価する。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したりしている。 定期考査や小テスト、パフォーマンステストを通して評価する。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 授業の取り組みやパフォーマンステストを通して評価する。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
4	オリエンテーション	「英語コミュニケーションⅠ」の学習目標，学習上の留意点，使用教材，年間計画，評価方法，などについて説明する。				
	Focus on Five Skill Areas 0	英語で授業を行い，ペアワークやグループワークを実施するにあたり，コミュニケーションを円滑に行うためのコツを確認させる。	○			
5	Lesson1 Achieving Your Dreams	＜題材内容とねらい＞ ・夢の実現に関する大谷翔平選手のメッセージを的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，自分自身の「目標達成シート」を書くことができる。 ＜文型・文法事項＞ ・to-不定詞，動名詞について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・日本語と英語の語順の違いに注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・ウェブサイトの情報の特徴を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して，わかりやすく「目標達成シート」を書こうとしている。	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
6	Lesson 2 What Do You Eat for Lunch?	＜題材内容とねらい＞ ・日本および世界の「弁当文化」について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，コンテストに応募することを想定した弁当について説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・現在完了形，分詞の形容詞用法について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・英語のリズムやイントネーションに注意して，英	○ ○	○ ○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題

※令和４年度以降入学生用

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
		文を音読することができる。 ＜場面・状況など＞ ・Q&A サイトなどに投稿する場合の注意点を理解し，読み手に配慮して，わかりやすく投稿文を書こうとしている。 ・聞き手に配慮して，コンテストに応募することを想定した弁当についてわかりやすく説明しようとしている。	○ ○		○ ○	
7	Lesson 3 The Evolution of the Cellphone	＜題材内容とねらい＞ ・携帯電話の発展について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，未来の携帯電話を想像し，それについてプレゼンテーションをすることができる。 ＜文型・文法事項＞ ・現在完了進行形，関係代名詞について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・意味のまとまりに注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し，聞き手に配慮して，わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。	 ○ ○ ○	○ ○	 ○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
第１学期の評価方法 ＜評価の対象＞ ①中間考査及び期末考査の成績，②Lesson 1～3 各課の評価問題の成績，③授業への取り組みの様子，④課題の提出状況と解答内容，⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。						
9	Lesson 4 A Healthy Planet	＜題材内容とねらい＞ ・絶滅危惧種の保護のあり方について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，絶滅危惧種の保護を訴えるポスターを作り，それを説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・助動詞＋be＋過去分詞，It seems that …について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・ディスコースマーカーに注意して，英文を理解す	 ○ ○	○ ○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題

※令和４年度以降入学生用

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
		ることができる。 ＜場面・状況など＞ ・ポスターの構成や作成方法を理解し，聞き手や読み手に配慮して，わかりやすくポスターを作成し，それを説明しようとしている。	 ○		 ○	
1 0	Lesson 5 The Adventures of *Curious George*'s Creators	＜題材内容とねらい＞ ・『おさるのジョージ』の作者の人生について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，好きなマンガ・アニメとその理由を説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・知覚動詞・使役動詞＋O＋C（＝原型不定詞），関係代名詞 what について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・英語の音の変化に注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・インタビューにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して，わかりやすく好きなマンガ・アニメとその理由を説明しようとしている。	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
1 1	Lesson 6 Messages about Happiness from Jose Mujica	＜題材内容とねらい＞ ・ホセ・ムヒカの幸福に関するメッセージを的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，幸福を感じるときについて説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・過去完了形・過去完了進行形，S＋V＋O（＋O）（＝疑問詞節）について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・考えや意図をうまく伝えるための表現に注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・ポスタープレゼンテーションにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して，わかりやすく幸福を感じるときについて説明しようとしている。	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題

※令和４年度以降入学生用

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
1 2	Lesson 7 To Stop Plastic Pollution	＜題材内容とねらい＞ ・海洋プラスチック汚染について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，世界的な環境問題の解決のためにできることについてパラグラフを書くことができる。 ＜文型・文法事項＞ ・S＋V＋it＋C＋to-不定詞，関係副詞について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・パラグラフの構造に注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・ブログなどの SNS の投稿文の特徴を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して，世界的な環境問題の解決のためにできることについてわかりやすく書こうとしている。	 ○ ○ ○

※令和４年度以降入学生用

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
2	Lesson 9 Will Human Beings and AI Go Hand in Hand?	＜題材内容とねらい＞ ・将来の人間と AI のあるべき姿について的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，人間と AI が共存する将来について説明することができる。 ＜文型・文法事項＞ ・分詞構文（現在分詞），関係詞の非制限用法について理解を深め，これらを適切に活用することができる。 ＜五領域の知識・技能＞ ・事実や情報をわかりやすく伝えるための表現に注意して，英文を理解することができる。 ＜場面・状況など＞ ・広告の構成を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して，わかりやすく人間と AI が共存する将来について説明しようとしている。	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
3	Optional Lesson The Safe	＜題材内容とねらい＞ ・ストーリーの展開を的確に理解し，その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して，ストーリーに関連する自分の考えを話すことができる。		 ○ ○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	発音してみよう	教科書で用いられる発音記号とその発音方法を説明する。	○			

第 3 学期の評価方法

＜評価の対象＞

①学年末考査の成績，②Lesson 8～9，Optional Lesson 各課の評価問題の成績，③授業への取り組みの様子，④課題の提出状況と解答内容，⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。

評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。

学年の評価方法

①知識・技能，②思考・判断・表現，③主体的に学習に取り組む態度の 3 つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して，年間の評価とする。